

第3回 校内授業研 4年生 《国語科》

単元名:戦争と平和をテーマにした物語を読んで『心にグッとくる』場面を本の帯で伝えよう

☆事後研で話題になったこと☆

- 自然なやり取りを意識してモデル動画を示したことで、話し合いのイメージが持てた。
→根拠となる文をなぞって示していた子どもの姿から、自分の考えの根拠を明確にしながら、本文の叙述をもとに友達と考えを交流することができていた。
- 交流時間を長く設けたことで、自分の考えや思いが明確になったり、深まったりした。
→対話を重ねていくことで、新たな気づきが生まれ、自分の考えに付け足したり、考えを深めたりすることができた。
- 全文シートと全文掲示があったことで、全文を一目で捉えることができた。
→友達との対話の中で、本文を行ったり来たりしながら読み返す子どもの姿から、場面の移り変わりや自分の考えを結びつけて物語を読むことができていた。
- ▲モデル動画を示した後に、交流のポイントとなる部分を全体で確認する必要があったのではないかな。
→交流の中で自分の考えを伝えた後に、それに対しての友達の考えを聞くことで、さらに深い学びにつながる交流ができたと思う。(話型が取れない子供も多かったので、ペア交流の経験を重ねることが必要。)
- ▲ワークシート(帯)を本時で子どもたちに配付しても良かったのではないかな。
→「じっくり考え中」と意思表示していた子どもの中には「わけ」を書きたがっている様子があったことから、学びを止まらせることのないように、一人一人の進度に応じて帯作りに入っても良かったと思う。
- ☆読むスキルと並行読書のスキルが絡み合うことで学びが深まり、言語活動へとつながっていく。その中で、子どもたちの学習内容もより明確になっていくのではないかな。(文章を読み取る力)

☆助言者より☆

《指導主事より》

- ・モデル動画があったことで、プリント交換にとどまらず、どのように交流するのかイメージを持って交流することができていた。
- ・振り返りの中で「曖昧だったところがはっきりした」と複数人書いていたが、何がどのようにはっきりしたのかまで具体的に書くことができるとより深い振り返りにつながる。
- ・普段、自分の考えをまとめることが苦手な子どもも対話を積み重ねることで、友達と考えを深め合えることを通して、自分の考えを確立することができる。
- ・わけが同じ人同士で交流することで、自分のわけを強化できたのではないかな。

☆「深い学びの実現に向けて」チャレンジしたいこと☆

- ・モデル動画を今後も各教科で有効活用していく。
→指導のポイントを児童が明確にイメージできるように
- ・交流する際に、発表のような定型的な伝え方をせず、互いの考えを受け止めながら、自然に話し合えるような交流の仕方を継続して指導していきたい。
- ・目的意識や相手意識が高まる言語活動を設定するとともに、ゴールの姿を指導者が具体的に描くことで、子どもたちが困りそうな点に気づき、実態に応じた手立てを講じていきたい。
- ・「同じ考え」に安心するのではなく、「理由が違う」ことを学びの価値として捉え、友達との対話から自分の考えを広げたり深めたりする授業を日々目指していく。



☆研究主任より☆

今回の授業研では、「心にグッとくる」場面を本の帯で伝えるという言語活動を設定し、学びに必要感をもたせた単元計画になっていました。研究全体会で確認したポイントを早速意識して単元計画に取り入れてくださり、ありがとうございます。

事前研では、①「一つの花」という作品をどのように（どこまで）読み込むか、②どのように「グッとくるところ」を対話で深めさせるか、が話し合いの中心でした。

①については、段落や場面ごとに読み取りを行っていくのではなく、物語全体を俯瞰して読みながら場面を関連付けながら読むことを大切にすべきだという視点で共有を図りました。ここで大事になってくるのがやはり「全文シート」の活用です。物語の一貫性を意識させ、ページを繰ることなく場面同士のつながりを視覚的にも捉えることができるからです。作品の世界観や登場人物の設定などについても、この作品を俯瞰した全体読みの中で捉えることで、初見の物語や文章の内容を大まかに掴む力の伸びにもつながるのではないかと思います。

②についてはモデル動画活用の有効性が今回も確認できたと思います。子供たちの交流の質を上げるには、やはり低学年のうちから対話の質を上げていくことが大切だと感じました。授業者も『深い学びの実現に向けて』で書かれていましたが、モデル動画を様々な場面で活用していくことが大切だと思います。そして是非、たくさんの先生方にモデル動画の撮影に協力して頂きたいと思います。モデル動画撮影に参加することで、対話の中で大事にしたいポイントをみんなで学ぶことができるからです。まさに学校一丸となって学びを研究する姿だと思います。

研究授業も第3回を終え、たくさんの学びが蓄積されてきていると感じています。先生方のご協力に心から感謝しています。次回は第4回（2年生）です。子供たちにも私達にもたくさんの学びがあることを楽しみにしています。

